

超小型視線検出装置 による目視確認サポート装置の開発



～小型・低コスト化とキャリブレーションレス及びGUIの開発～

連携機関 | 株式会社システムアートウェア
研究期間 | 平成23～25年度[県費研究(開発研究)]

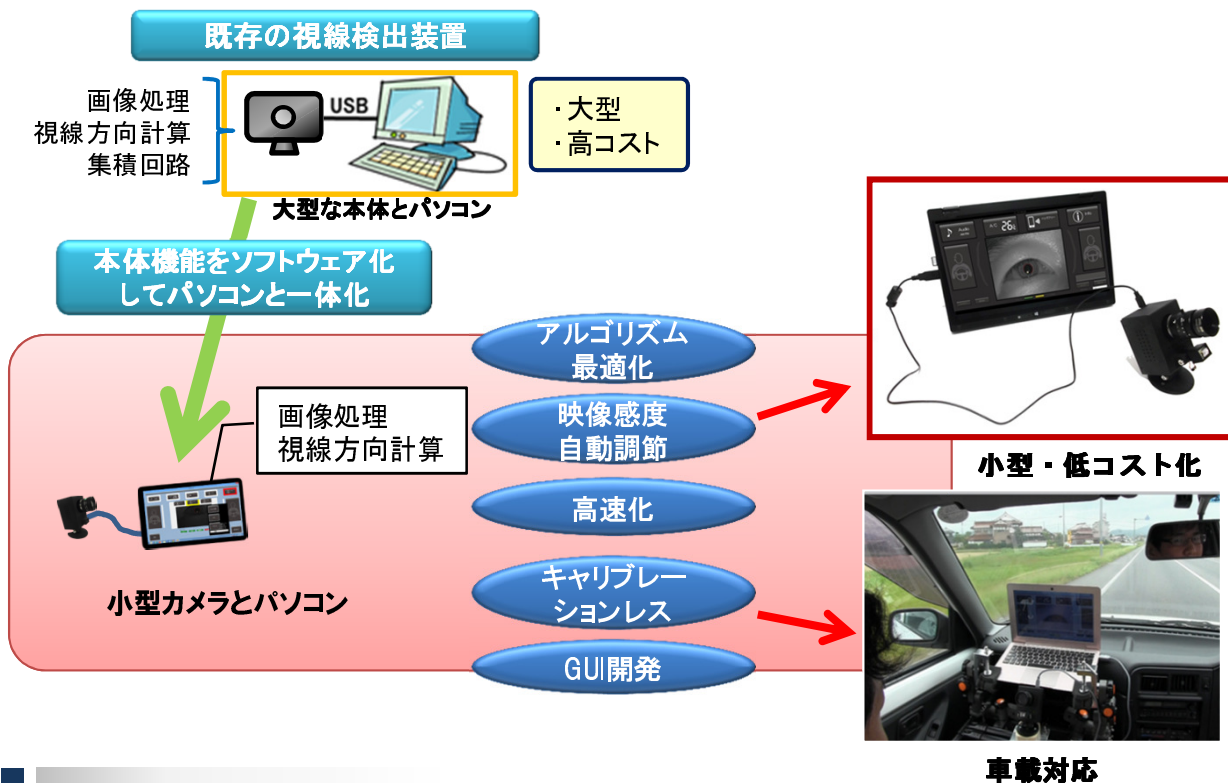
研究開発のきっかけ

- ◆ 視線検出装置の登場で、自動車運転での居眠りや脇見の警告や、視線入力による家電操作などが可能になりました。しかし、大掛かりなシステムと高コストが原因で普及が進んでいません。
- ◆ そこで、小型・低コストな視線検出装置の開発が望まれていました。

研究成果の概要

- ◆ 小型・低コストで自動車や福祉分野まで幅広く活用可能な視線検出装置を開発しました。
- ◆ 視線検出装置をソフトウェア化したことで、タブレットPC等のみで動作する視線検出装置となりました。
- ◆ 用途に応じたGUI※のカスタマイズも可能です。
- ◆ 利用者の負担となる、視線検出のための校正行程(キャリブレーション)を必要としない「キャリブレーションレスプログラム」と、これに必要なGUIを開発しました。

※GUI(Graphic User Interface) : コンピュータを操作するためのアイコンやボタン等



研究成果の活用状況

- ◆ 平成26年度は、成果移転事業を通じ、自動車の先進安全技術や福祉分野等での活用を目指します。